【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和4年9月28日(2022.9.28)

【国際公開番号】WO2020/058217
【公表番号】特表2022-502359(P2022-502359A)
【公表日】令和4年1月11日(2022.1.11)
【出願番号】特願2021-514556(P2021-514556)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ 14/48(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 1/36(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 1/16(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/16(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ 9/70(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/10(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/113(2010.01)
Ｃ１２Ｐ 21/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ 14/48
Ｃ０７Ｋ 1/36
Ｃ０７Ｋ 1/16
Ａ６１Ｋ 38/16
Ａ６１Ｐ 17/02
Ａ６１Ｋ 9/08
Ａ６１Ｋ 9/70
Ｃ１２Ｎ 15/10 ２００Ｚ
Ｃ１２Ｎ 15/1131２０Ｚ
Ｃ１２Ｐ 21/02 Ｈ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月16日(2022.9.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号３のポリペプチド及び配列番号４のポリペプチドの間で選択されるポリペプチドを含む、哺乳動物の被験体における皮膚科障害の処置及び／又は予防における使用のための、薬剤。
【請求項２】
哺乳動物の被験体がヒトである、請求項１に記載の薬剤。
【請求項３】
ポリペプチドが配列番号４のポリペプチドである、請求項１又は２に記載の薬剤。
【請求項４】
皮膚科障害が、被験体の身体の少なくとも一部での創傷表面により特徴付けられる、請求項１～３のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項５】
創傷表面により特徴付けられる皮膚科障害が、好ましくは、真皮の少なくとも部分的な切除、及び場合により真皮の切除により特徴付けられる皮膚病変である、請求項４に記載の薬剤。
【請求項６】
皮膚科障害が、好ましくは糖尿病性潰瘍、外傷性潰瘍、外科的潰瘍、褥瘡、慢性潰瘍、及びこれらの潰瘍いずれかの組み合わせからなる群より選択される少なくとも１つの潰瘍を含み、あるいは皮膚科障害が火傷又は機械的損傷を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項７】
哺乳動物、好ましくはヒトが真性糖尿病に苦しんでいる、又は真性糖尿病に苦しむ素因を有する、請求項１～６のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項８】
糖尿病が１型真性糖尿病及び２型真性糖尿病の間で選択される、請求項７に記載の薬剤。
【請求項９】
ポリペプチドが単回投与において投与される、請求項１～８のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１０】
ポリペプチドが反復投与される、請求項１～８のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１１】
ポリペプチドが１日当たり１～５回、好ましくは１日当たり約２回反復投与される、請求項１０に記載の薬剤。
【請求項１２】
ポリペプチドが、３日から３０日、好ましくは７日から１４日の期間にわたり、又は、あるいは創傷身体表面の閉鎖まで反復投与される、請求項１０又は１１に記載の薬剤。
【請求項１３】
ポリペプチドが、糖尿病性足潰瘍（ＤＦＵ）を伴う被験体、好ましくは糖尿病性神経障害性足潰瘍（ＤＦＵ）を伴う被験体に投与される、請求項１～１２のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１４】
局所投与のための請求項１～１３のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１５】
ポリペプチドが創傷身体表面に投与される、請求項１４に記載の薬剤。
【請求項１６】
用量／各々の用量が、処置されている創傷身体表面のｍｍ2当たり０．３～６μｇ（０．３～６μｇ/ｍｍ2）のポリペプチドの量である、請求項１５に記載の薬剤。
【請求項１７】
処置及び／又は予防が哺乳動物の被験体において痛覚過敏を起こさない、請求項１～１６のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１８】
ポリペプチドが水性培地中に含まれ、及びその水性培地が哺乳動物の被験体に投与される、請求項１～１７のいずれか一項に記載の薬剤。
【請求項１９】
ポリペプチドが組換え発現及び精製により入手でき、精製が混合モード固定相上での精製を含む、請求項１～１８のいずれか一項に記載の薬剤。